

CSSD information

メディコム CSSD インフォメーション



広島感染防止及び滅菌業務研究会 会長

下前 恵 先生による

「滅菌管理(中央材料室)業務の理解と作業のポイント:入門編」

洗浄業務のポイント

皆様、こんにちは今回は洗浄業務のポイントについてお話しします

1:洗浄の目的

99.9%以上の汚染を除去することです。

見た目の汚れは完全に
取り除くと言うことですね!



汚染物質が器材に残っていると、その部分は滅菌できません。

2:洗浄室は汚染の区域になります。
それは使用済みの器材が返却される場所だからです。



処理をする私たちが、感染しないように
適切に防護具を着用します。自分を守る
人は他人も守れるといわれていますよ

防護具の種類	防護具の目的...どこを守っているか
サージカルマスク	鼻、口の粘膜からの侵入を防ぐ
ゴーグル(めがね)	目の粘膜からの侵入を防ぐ
手袋	汚染物や危険物から手指を守る。 二重三重にするとより効果がある
エプロン	着衣を汚染物の飛び散りから守る
キャップ	頭部への汚染物の飛び散りを防ぐ、又、 洗浄室以外での目的は髪の毛やふけ等の落下を防ぐ
シューズカバー	シューズへの汚染物の飛び散りを防ぐ

3:医療現場の汚染物は蛋白質です。
感染の危険がある血液等の湿性生体物質です
湿性生体物質:血液・汗を除く体液・すべての
粘膜・創傷のある皮膚のことです

血液等の蛋白質が器材に固着すると取り
にくくなります。血液等の汚れが乾燥
しないことが大切です。
使用後は速やかに洗浄するか、又は蛋白
凝固防止剤を噴霧してください



4:洗浄手段とそのポイントについて

食洗機と
一緒だね!

- 1) 機械洗浄(ウォッシャーデイスインフェクター:WD)
 - ・洗浄機の中に使用済みの器材をそのままセットします
 - 血液汚染がひどい時は、シンクで洗い流してからセットしましょう
 - ・コッヘル等の鉗子類は90°に開いていれましょう

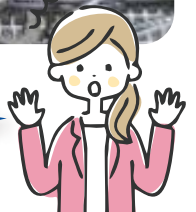


洗浄器に入れば100%洗浄できるの
ではありません
器材の入れすぎにも注意が必要です

洗浄籠の中に入れる時は、水流が器械に
あたりやすいように、器械同士にすきま
ができる並べ方をしましょう



バラバラに入れるんですね



4: 洗浄手段とそのポイントについて(続き)

2) 用手洗浄(手洗い洗浄)



手洗いは人の行う作業です。自己流ではなくて皆が同じ作業ができるように手順を決めておくことが大切です

・洗浄やすすぎの方法を決めておきます
「浸漬時間は何分、ブラッシングの回数は何回」というように細かく決めて皆で守ります

シンクの周辺に洗浄やすすぎの方法を書いて、張り付けておくといいですね



・酵素洗剤を使用している場合は温度管理が大切です



酵素も丁度よいお湯加減が良いですね! 温泉みたいです!

・内腔のある器材に使用するブラシ等は、器材の大きさにあったものが重要です。ブラシの毛が取れてしまったものは交換しましょう

・水道水で洗浄する時も注意が必要です

流水で洗う時: 洗い桶の中にたっぷり水を溜めて、その水の中で器械を洗うことが重要です。汚染の飛び散りを防止する為です



3) 洗浄剤について

・洗浄剤にはアルカリ性洗剤、中性洗剤、酸性洗剤があります
それぞれの用途にあった洗剤を選びましょう
機械洗浄にはアルカリ性洗剤、中性洗剤は使用できます
用手洗浄には中性洗剤、酸性洗剤が使用できます
アルカリ洗浄剤は皮膚に付着したり、眼に入ったりすると害がありますのでお勧めできません

5: 洗浄後は適切に洗浄できていることを目視で確認する事が重要です

1) 日本医療機器学会では洗浄評価基準を「洗浄後の再使用可能器械に付着する残留蛋白質量を200 μ g以下であることを確認する」と勧告しています

2) 洗浄評価方法

(1) 洗浄後の再使用可能器械は目視で1本ずつ汚れが残っていないか確認

(2) 色素染色法・拭き取り法等でより詳しく確認...判定量方法は各施設で実施可能です

(3) 器材に付着している残留蛋白質量の定量検査

これは専門の業者に提出する必要があります

中央材料室の大きな目的は安全で安心できる滅菌物の提供です。それには滅菌する前の洗浄行為がとても重要な鍵となります。理由は汚染が残存している場所には滅菌剤が届かないからです



洗浄はただ洗えばいいのではないんだー!
どうしたら確実に汚れが取れるかを考えるんですね!
なんか研究しているみたいです



Medicom®
ANIOSYME5
SYNERGY 5
アニオザイム シナジー 5

アニオザイムシナジー5は5つの酵素を配合した中性酵素洗浄剤です。タンパク質、脂質のみならず様々な汚れに対して優れた洗浄効果を発揮します。また、高希釈洗浄で経済的なうえ、用手洗浄、浸漬洗浄、超音波洗浄、WD(ウォッシュャーディスインフェクター)と多様な洗浄方法に使用できます

